

(表紙)

都道府県名	鳥取県
野菜指定産地名	^{とっとり} 鳥取いなば
指定野菜の種別	秋冬ねぎ
指定年月日	平成8年5月30日

生産出荷近代化計画書

計画樹立年月日 令和6年10月22日

野菜指定産地の区域 鳥取市 岩美町
若桜町 智頭町
八頭町

関係農協等名 鳥取いなば農業協同組合
全国農業協同組合連合会鳥取県本部

目 次

第1 区域の概況

第2 指定野菜の生産及び出荷の近代化に関する基本的構想

第3 指定野菜の生産に関する事項

1. 作付面積及び生産数量
2. 収穫面積規模別農家数
3. 耕種状況等
 - (1) 主要輪作体系及び耕種時期
 - (2) 栽培技術等の改善
 - (3) 農業用廃プラスチックの処理方針
4. 労働生産性の向上と労働力確保
 - (1) 10a 当たり総労働時間
 - (2) 年齢別農業従事者数
 - (3) 労働力確保、生産省力化のための具体的手段の現状と課題

第4 指定野菜の出荷に関する事項

1. 流通先別出荷数量
2. 出荷機関別出荷数量
3. 出荷規格

第5 指定野菜の近代化に関する事業計画

1. 現状
2. 計画

第1 区域の概況

1 自然的条件

鳥取県東部に位置し1市4町にまたがっている。東西約45km、南北約47km、総面積約1,518km²の地域で、県の総面積の43%を占めている。東・西・南の三方は山に囲まれ、特に南方は中国山地に連なるため徐々に標高が高まり、北方は東西約16kmの鳥取砂丘をへだてて日本海に面している。

中国山地に源を発する大小の河川が南北に流れ、流域に耕地が広がり、下流域に沖積平野を形成し、河口部には海砂丘が発達している。地質は、安山岩・花崗岩・第三期層が大部分を占め、土壌は砂土、壤土、埴土。気象は裏日本型気候に属し、12月から2月にかけては降雪日が多く、県内でも積雪の多い地域である。地域の北部に当たる鳥取市の平均気温は16.6℃、年間降水量は2,059mm、年間日照時間は1,936時間である。(令

2 社会的条件

道路は、海岸線に沿って東西に走る国道9号バイパスによる山陰自動車道のほか、鳥取市から佐用ICまで全線開通した鳥取自動車道により、以前より短時間で山陽および京阪神の経済圏と結ばれるようになった。市場への輸送はトラックで行われ、岡山市へは3時間、神戸市・大阪市へは2.5～3時間、京都市へは4時間、広島市。鉄道は、鳥取駅を軸として東西に走るJR西日本の山陰線と鳥取駅から東津山駅に至るJR西日本の因美線、智頭駅から兵庫県上郡駅に至る智頭急行株式会社の智頭線がある。航空路は、鳥取－東京(1日5便)が運行さ。海上輸送では、鳥取港が大型船舶の入港が可能であり、県東部域の産業振興に重要な役割を果たしている。

3 農業の動向

農業地域類型では、鳥取市と岩美町では、都市的地域、中山間農業地域及び山間農業地域を広く包括し、八頭町、智頭町、若桜町では主に山間地農業地域にそれぞれ属している。

耕地面積は、9,987haで県全体の約30%を占めている。

(附表)
農業粗生産額 (令和4年)

市町村名	合計	耕 種										畜 産								加工農産物	
		計	米	麦類	雑穀・豆類	いも類	野菜	果実	花き	工芸農作物	その他作物	計	肉用牛	乳用牛		豚	鶏	ブロイラー			その他畜産物
														生乳	鶏卵			鶏卵	ブロイラー		
鳥取市	1,392	794	300	x	2	21	260	150	x	2	x	598	162	55	52	305	76	x	-	0	0
岩美町	80	69	50	-	0	2	11	4	x	0	x	11	-	11	x	-	0	0	-	-	-
若桜町	54	19	12	-	0	0	7	0	0	0	x	35	12	-	-	x	-	-	-	x	0
智頭町	64	45	23	x	0	1	10	1	x	0	x	18	18	-	-	-	-	-	-	0	-
八頭町	306	228	84	x	0	4	46	71	21	1	x	78	50	18	x	-	10	x	-	-	-
合計	1,896	1,155	469	0	2	28	334	226	21	3	0	740	242	84	52	305	86	0	0	0	0
同上比率	100	60.9	24.7	0.0	0.1	1.5	17.6	11.9	1.1	0.2	0.0	39.0	12.8	4.4	2.7	16.1	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0

・ラウンドにより合計値が一致しない場合がある。

・Xについては、統計上公表できない数値である。

(注)最近年次の実績を記入する。

第2 指定野菜の生産及び出荷の近代化に関する基本的構想

・当該野菜の生産に関し、県、市町村、全農、農協で連携し、新技術を積極的に導入し、安定的な出荷と品質の向上を図るとともに、省力化と経営規模の拡大及び新規栽培者の掘り起こしを進め生産強化を図る。

・苗供給体制を整備し、土質に合った機械化を推進することで省力かつ合理的な産地体制を整備する。

・流通面では、既存の予冷施設はもとより、広域集出荷施設及び予冷施設を充実させ鮮度保持と出荷調整による高品質野菜の安定供給に努める。

・出荷資材の改善、流通経費の低減に努めるとともに、野菜価格安定対策事業の活用により生産農家の所

2. 収穫面積規模別農家数

(単位:戸、%)

市町村名	項目 年次	収穫 農家数	収穫面積規模別												
			5a 未満	5a~ 10a	10a~ 20a	20a~ 30a	30a~ 50a	50a~ 1ha	1ha~ 1.5ha	1.5ha~ 2ha	2ha~ 5ha	5ha~ 6ha	6ha~ 8ha	8ha~ 10ha	10ha 以上
鳥取市	現在(R4年) A	130	21	30	38	15	14	8	1	1	2	0	0	0	0
	目標(R9年) B	135	21	31	41	16	14	8	1	1	2	0	0	0	0
	対比B/A	104%	100%	103%	108%	107%	100%	100%	100%	100%	100%	0%	0%	0%	0%
岩美町	現在(R4年) A	17	3	3	5	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0
	目標(R9年) B	17	3	3	5	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0
	対比B/A	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
若桜町	現在(R4年) A	6	1	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	目標(R9年) B	6	1	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	対比B/A	100%	100%	100%	100%	100%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
智頭町	現在(R4年) A	10	1	4	3		1	1	0	0	0	0	0	0	0
	目標(R9年) B	9	0	4	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	対比B/A	90%	0%	100%	100%	0%	100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
八頭町	現在(R4年) A	35	1	5	12	7	7	1	1	0	1	0	0	0	0
	目標(R9年) B	34	0	5	12	7	7	1	1	0	1	0	0	0	0
	対比B/A	97%	0%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	0%	100%	0%	0%	0%	0%
計	現在(R4年) A	198戸	27	44	59	26	23	12	3	1	3	0	0	0	0
	目標(R9年) B	201戸	25	45	62	27	23	12	3	1	3	0	0	0	0
	対比B/A	102%	93%	102%	105%	104%	100%	100%	100%	100%	100%	0%	0%	0%	0%
	比率														
	現在	100%	14%	22%	30%	13%	12%	6%	1.5%	1%	1.5%	0%	0%	0%	0%
	目標	100%	12%	22%	31%	13%	11%	6%	1.5%	0%	1.5%	0%	0%	0%	0%

第3 指定野菜の生産に関する事項

当該地域での秋冬ねぎは古くから栽培されていたが、水田転作に適する品目として、平成2年頃から本格的な栽培が始まり、その後農協、普及所の指導により面積拡大を図り、平成8年に秋冬ねぎの指定産地になった。

今後も県、市町、農協が連携し生産者の確保、一戸あたりの栽培面積の拡大を図り、産地全体で令和9年には栽培面積を66haに拡大し、生産量も1,024 tに拡大する計画である。

収穫面積規模別農家数については、収穫面積が20 a 未満の農家が6割を占めており小規模農家を中心である。

今後は機械化の推進、作期の拡大や栽培技術の向上等により少ない労力でも可能な栽培体系を確立し、収穫面積20a以上の農家の比率を高めていく。

1. 作付面積及び生産数量

(単位:ha、トン、kg、%)

市町村名	項目		作付面積	生産数量	10a当たり生産数量
	年次				
鳥取市	5年前 (H29年)		44	689	1,566
	現在 (R4年)	A	40	559	1,398
	目標 (R9年)	B	44	636	1,445
		対比B/A	110%	114%	103%
岩美町	5年前 (H29年)		5	83	1,660
	現在 (R4年)	A	5	61	1,220
	目標 (R9年)	B	5	67	1,340
		対比B/A	100%	110%	110%
若桜町	5年前 (H29年)		2	38	1,900
	現在 (R4年)	A	2	24	1,200
	目標 (R9年)	B	2	26	1,300
		対比B/A	100%	108%	108%
智頭町	5年前 (H29年)		2	36	1,800
	現在 (R4年)	A	1	17	1,700
	目標 (R9年)	B	1	18	1,800
		対比B/A	100%	106%	106%
八頭町	5年前 (H29年)		14	340	2,429
	現在 (R4年)	A	13	252	1,938
	目標 (R9年)	B	14	277	1,979
		対比B/A	108%	110%	102%
計	5年前 (H29年)		67	1,186	1,770
	現在 (R4年)	A	61	913	1,497
	目標 (R9年)	B	66	1,024	1,552
		対比B/A	108%	112%	104%

3. 耕種状況等

(1) 主要輪作体系及び耕種時期

年次	タイプ	耕種時期																				比率	指定野菜の主要品種名					
		1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8			9	10	～		
現在 (R4年)	A					△	△	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	□	□	%		
	B							(越冬)				○	○	△	△	—	—	—	—	—	—	—	—	—	□	□	7	夏扇パワー、 光の剣
	:																										83	夏扇4号 関羽一本太
目標 (R9年)	A					△	△	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	□	□	%		
	B							(越冬)				○	○	△	△	—	—	—	—	—	—	—	—	—	□	□	10	夏扇パワー、 光の剣
	:																										78	夏扇4号 関羽一本太

(注) 耕種時期は記入例により記入する。ただし、○-○(は種期)、△-△(定植期)、□-□(収穫期)、×-×(収穫最盛期)とし、指定野菜名は括弧書きとする。

(2) 栽培技術等の改善

10月から2月の間に出荷される秋冬ねぎの作型が主流であるが、産地規模拡大を図るためには労力分散が必要であり、作型分化をせざるをえず、前進化技術の確立が必要である。

ハウス育苗により夏ねぎセル大苗の育苗技術普及により、7月下旬からの連続出荷体系が確立され経営基盤の安定を進められた。さらに、中山間地で可能な作型を導入推進し、出荷時期の労力分散により長期安定出荷を目指す。

適切な堆肥の投入と深耕ロータリー、トレンチャー等を利用した土づくりによる地力の維持増強を行い、生産安定と品質向上を図る。

(3) 農業用廃プラスチックの処理方針

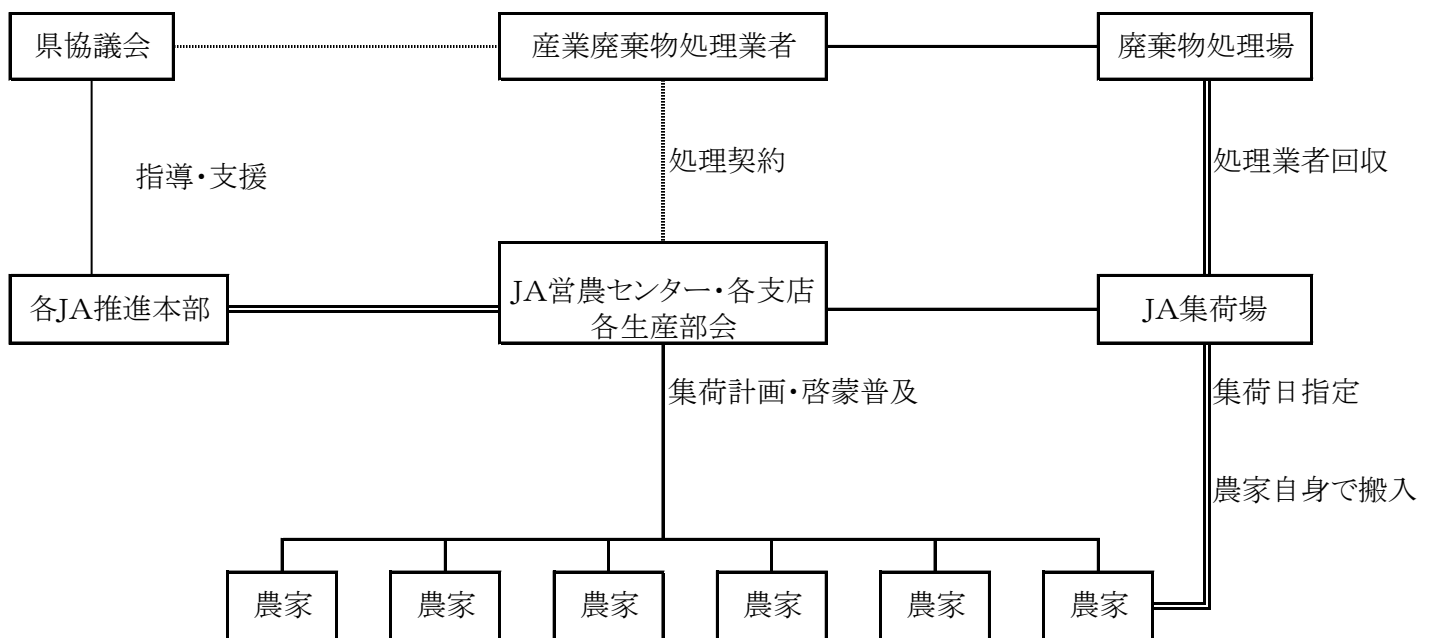
ア 農業用廃プラスチック処理の現状と課題

被覆資材として使用した塩化ビニールフィルム、ポリエチレンフィルム、プラスチックフィルム等は、次年度マルチとして再利用するものと、個人で処分するもの、業者により処理するものと大別される。
現在、各JAに農業用廃プラスチック適正処理推進本部を設置し、全量処理業者による適正処理を推進している。

イ 今後の処理方針

廃プラスチックは、産業廃棄物として農業者が責任を持って処理すべきものとして位置付けられており、行政機関、農業団体、製造、流通業者が一体となって回収体制を確立し、適正処理を進める。
今後、各JA推進本部を中心とした組織的取組とともに生産部会を通じて農業者への啓発を図り、適正処理を実施していくものとする。

【農業用廃プラスチックの処理体制図】



4. 労働生産性の向上と労働力確保

(1) 10a当たり総労働時間

(単位:時間、%)

項目	10a当たり 総労働時間	10a当たり総労働時間の内訳								
		育苗	耕起 整地 基肥	定植 (は種)	中耕 ・ 除草	追肥	栽培 管理	防除	収穫 ・ 調製	その他
年次 現在(R4 年)A	625.5	-	11	17	32	15	24	37	486.5	3
目標(R9 年)B	625.5	-	11	17	32	15	24	37	486.5	3
対比B/A	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 年齢別農業従事者数

(単位:人、%)

市町村名	項目	合計						男					女						
		計	16	30	50	60	65	計	16	30	50	60	65	計	16	30	50	60	65
			歳	歳	歳	歳	歳以上		歳	歳	歳	歳	歳以上		歳	歳	歳	歳	歳以上
鳥取市	現在(4年) A	130	0	19	13	7	91	129	0	19	13	6	91	1	0	0	0	1	
	目標(9年) B	135	0	19	13	7	96	133	0	19	13	6	95	2	0	0	0	1	1
	対比B/A	104%	0%	100%	100%	100%	105%	103%	0%	100%	100%	100%	104%	200%	0%	0%	0%	100%	0%
岩美町	現在(4年) A	17	0	1	0	1	15	17	0	1	0	1	15	0					
	目標(9年) B	17	0	1	0	1	15	17	0	1	0	1	15	0					
	対比B/A	100%	0%	100%	0%	100%	100%	100%	0%	100%	0%	100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
若桜町	現在(4年) A	6	0	1	1	0	4	6	0	1	1	0	4	0					
	目標(9年) B	6	0	1	1	0	4	6	0	1	1	0	4	0					
	対比B/A	100%	0%	100%	100%	0%	100%	100%	0%	100%	100%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
智頭町	現在(4年) A	10	0	2	0	0	8	10	0	2	0	0	8	0					
	目標(9年) B	9	0	2	0	0	7	9	0	2	0	0	7	0					
	対比B/A	90%	0%	100%	0%	0%	88%	90%	0%	100%	0%	0%	88%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
八頭町	現在(4年) A	35	0	7	2	1	25	33	0	5	2	1	25	2	0	2	0	0	
	目標(9年) B	34	0	7	2	1	24	30	0	5	2	1	22	4	0	2	0	0	2
	対比B/A	97%	0%	100%	100%	100%	96%	91%	0%	100%	100%	100%	88%	200%	0%	100%	0%	0%	0%
計	現在(4年) A	198	0	30	16	9	143	195	0	28	16	8	143	3	0	2	0	1	0
	目標(9年) B	201	0	30	16	9	146	195	0	28	16	8	143	6	0	2	0	1	3
	対比B/A	102%	0%	100%	100%	100%	102%	100%	0%	100%	100%	100%	100%	200%	0%	100%	0%	100%	0%
	比率	現在	100	0	15	8	5	72	98	0	14	8	4	72	2	0	1	0	1
目標	100	0	15	8	4	73	97	0	14	8	4	71	3	0	1	0	0	1	

(3) 労働力確保、生産省力化のための具体的手段の現状と課題
調製時間の短縮のため皮むき機・根葉切機の導入を進めている。

第4 指定野菜の出荷に関する事項

当該産地の秋冬ねぎは全量生食用で、主に近畿、中国、四国地域の市場に出荷されている。
令和4年度現在の出荷量は501tであるが、目標年の令和9年には、628tを出荷する計画である。
栽培技術向上により単収を増やしていく。

1. 流通先別出荷数量

(単位:トン、%)

市町村名	流通先 年次	生食用		加工用		合計	主な出荷先名
		卸売市場向け	卸売市場以外向け	卸売市場向け	卸売市場以外向け		
鳥取市	年前(H29年)	321	0	0	0	321	近畿・中国・四国
	現在(R4年)	312	0	0	0	312	〃
	目標(R9年)	398	0	0	0	398	〃
岩美町	年前(H29年)	31	0	0	0	31	近畿・中国・四国
	現在(R4年)	38	0	0	0	38	〃
	目標(R9年)	50	0	0	0	50	〃
若桜町	年前(H29年)	16	0	0	0	16	近畿・中国・四国
	現在(R4年)	15	0	0	0	15	〃
	目標(R9年)	20	0	0	0	20	〃
智頭町	年前(H29年)	11	0	0	0	11	近畿・中国・四国
	現在(R4年)	8	0	0	0	8	〃
	目標(R9年)	10	0	0	0	10	〃
八頭町	年前(H29年)	154	0	0	0	154	近畿・中国・四国
	現在(R4年)	125	0	0	0	125	〃
	目標(R9年)	150	0	0	0	150	〃
計	年前(H29年)	533	0	0	0	533	近畿・中国・四国
	現在(R4年)	498	0	0	0	498	〃
	目標(R9年)	628	0	0	0	628	〃

2. 出荷機関別出荷数量

(単位:トン)

市町村名	項目 年次	農協 連合会	農協	任意 組合	商協	商人	大規模 生産者 ()	その他	計
鳥取市	5年前(H29年)	321	0	0	0	0	0	0	321
	現在(R4年)	312	0	0	0	0	0	0	312
	目標(R9年)	398	0	0	0	0	0	0	398
岩美町	5年前(H29年)	31	0	0	0	0	0	0	31
	現在(R4年)	38	0	0	0	0	0	0	38
	目標(R9年)	50	0	0	0	0	0	0	50
若桜町	5年前(H29年)	16	0	0	0	0	0	0	16
	現在(R4年)	15	0	0	0	0	0	0	15
	目標(R9年)	20	0	0	0	0	0	0	20
智頭町	5年前(H29年)	11	0	0	0	0	0	0	11
	現在(R4年)	8	0	0	0	0	0	0	8
	目標(R9年)	10	0	0	0	0	0	0	10
八頭町	5年前(H29年)	154	0	0	0	0	0	0	154
	現在(R4年)	125	0	0	0	0	0	0	125
	目標(R9年)	125	0	0	0	0	0	0	125
計	5年前(H29年)	533	0	0	0	0	0	0	533
	現在(R4年)	498	0	0	0	0	0	0	498
	目標(R9年)	603	0	0	0	0	0	0	603

3. 出荷規格

出荷規格は、全国農業協同組合連合会鳥取県本部が作成した規格を使用している。今後必要に応じて規格の変更、簡素化を検討していく。

秋冬ねぎ出荷規格表

令和5年度				JA全農とっとり																				
等級	階級(標識)	根元10cm上部直径	小束本数	葉切全長	摘																			
秀	2L 緑	1.8cm以上~2.5cm未満	2本	58cm	摘 ◎標目 正味重量 3.15kg以上 ◎小束 1箱10束入り 小束は太さをそろえる 小束は結束テープで結束する 2枚葉だけで結束しない ◎調整 1. 砂、汚れはきれいにふきとり、病虫害葉、結葉は取り除く 2. 根は完全に切る(ただし、深切りはしないこと) 3. 葉の中の水切りは充分に行う(複数回行う) ◎選別基準 <table border="1"> <tr> <th>等級</th> <th>優</th> <th>良</th> </tr> <tr> <td>葉の枚数</td> <td>3枚以上 ※ただし、葉を 多く2枚の葉が そろっているもの も可とする</td> <td>2枚以上</td> <td>2枚以上</td> </tr> <tr> <td>病虫害葉</td> <td>無いもの</td> <td>無いもの</td> <td>ごく少量のもの</td> </tr> <tr> <td>曲がり</td> <td>右下図 秀品曲がり基準のとおり</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>棒ねぎ</td> <td>—</td> <td>5cm未満</td> <td>—</td> </tr> </table> ※JAによっては良規格を適用する ◎箱詰め 「M」は5~6本束、7~8本束を別々に箱詰めする 「A」は2本束、3本束、4本束を別々に箱詰めする ◎混入 ※最後に残った束を組合して1箱とする場合 2L、L、L4のいずれか又は全部が混合となる場合は「A」とする ただし、上記の中にMが混入する場合は「優」とする ◎産地の維持はあなたの荷から	等級	優	良	葉の枚数	3枚以上 ※ただし、葉を 多く2枚の葉が そろっているもの も可とする	2枚以上	2枚以上	病虫害葉	無いもの	無いもの	ごく少量のもの	曲がり	右下図 秀品曲がり基準のとおり			棒ねぎ	—	5cm未満	—
	等級	優	良																					
	葉の枚数	3枚以上 ※ただし、葉を 多く2枚の葉が そろっているもの も可とする	2枚以上			2枚以上																		
	病虫害葉	無いもの	無いもの			ごく少量のもの																		
	曲がり	右下図 秀品曲がり基準のとおり																						
	棒ねぎ	—	5cm未満			—																		
L 紫	27cm※ 1.2cm以上~1.8cm未満	3本																						
L4 若草	1.2cm以上~1.8cm未満	4本																						
M 赤	1.0cm以上~1.2cm未満	5~8本																						
A 青	1.2cm以上~2.5cm未満	2~4本																						
3L 黄	25cm 2.5cm以上	バラ14本																						
優良	クラフト(紫色)	1.0cm以上	—		根元10cm上部直径 2.5 1.8 1.2 1.0																			

※10月期のみ軟白部の長さを25cm以上とする。11月期以降は27cm以上
※JAによっては良規格を適用する

第5 指定野菜の近代化に関する事業計画

本産地の秋冬ねぎについては、機械化は徐々に進んできてはいるものの、収穫調整を中心とする作業にかなり労力を要している。

目標年に向かって、面積拡大と生産安定のためには機械化が必要であり、定植機及び一般管理作業機、調整作業機等の一層の普及に努め、省力化を進めながら一戸当たりの規模拡大を図るとともに、栽培農家を増やすこととしている。

また、品質の向上を図るため予冷施設等集出荷施設の充実、活用を推進し、品質面、出荷量で市場評価を高めるよう努力する。

1. 現 状

導入事業名	市町村名	事業実施主体名	受益範囲		事業の内容	工種又は施設区分	構造・規格能力等	事業量	導入年度	備考
			戸数	面積又は処理量						
がんばる地域プラン	鳥取市 岩美町 八頭町 智頭町 若桜町	JA鳥取いなば	戸 250	ha(t) 50	出荷調整	皮むき機 コンプレッサ		23台	H26～30	
						根葉切機		12台		
					育苗	剪葉機		1台	H26	
						セル苗移植機		2台	H26.H28	
						土揚げ機		2台	H26.H28	
						育苗ハウス		3棟	H26	
					産地生産基盤 パワーアップ事業	八頭町	八頭町 地域再生協議会	43	17.4	雪・強風対策資材の導入
防除機、収穫機、根葉切り機等のリース導入	白ネギ根葉切り機		1台	R1						
	ネギ収穫機		1台	R1						
	自走式ラジコン防除機		1台	R1						

(注)

1 現在、指定野菜の生産出荷等に関係している施設等で、補助、融資事業により導入したものについて記入する。

2 受益範囲の欄については、区域の当該指定野菜の受益戸数及び受益面積(集出荷貯蔵施設については処理量)を記入する。

なお、指定野菜がばれいしょの場合は、でん粉原料用ばれいしょも含めたばれいしょの総計を括弧書きで上段に記入する(以下同じ)。

3 導入事業名の欄には、これら施設等を導入した補助、融資等の事業名を記入する。

2. 計画

助成区分	市町村名	事業実施主体名 (見込)	受益範囲		事業の内容	工種又は施設 区分	事業量	導入年度 (見込)	備考
			戸数	面積 又は 処理量					
補助事業			戸	ha(t)					
農業改良資金									
融資事業等									

(注) 当該指定野菜の生産出荷等の近代化のために、本計画の目標年次まで実施される予定の補助、融資事業について記入する。